

平成 20 年 10 月 21 日

各 位

不動産投信発行者名

東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号
六本木ヒルズ森タワー

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人

代表者名 執行役員

鈴木 博之

(コード番号：8981)

資産運用会社名

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社

代表者名 代表取締役

鈴木 博之

問合せ先 管理本部長

板橋 昇

TEL. 03-6439-0333

2008 年 9 月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の 2008 年 9 月度の月次総売上高並びに宿泊部門の客室稼働率、ADR 及び RevPAR を下記のとおりお知らせいたします。本投資法人は変動賃料の支払いを伴うホテルであって、ホテル賃借人である株式会社ホテルマネージメントジャパンから開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

記

ホテル／項目			9 月	対前期 同月増減 注(7)
神戸メリケンパーク オリエンタルホテル	稼働率	(%)	75.3%	-9.3%
	ADR	(円)	15,587	481
	RevPAR	(円)	11,737	-1,035
	売上高	(百万円)	479	-65
オリエンタルホテル 東京ベイ	稼働率	(%)	91.0%	6.2%
	ADR	(円)	18,224	-122
	RevPAR	(円)	16,592	1,031
	売上高	(百万円)	557	-4
なんばオリエンタルホテル	稼働率	(%)	80.8%	-14.3%
	ADR	(円)	10,615	417
	RevPAR	(円)	8,577	-1,124
	売上高	(百万円)	154	-14
ホテル日航アリビラ	稼働率	(%)	94.7%	0.6%
	ADR	(円)	27,289	607
	RevPAR	(円)	25,843	727
	売上高	(百万円)	532	1
オリエンタルホテル広島 (注 6)	稼働率	(%)	78.4%	5.9%
	ADR	(円)	9,062	508
	RevPAR	(円)	7,102	907
	売上高	(百万円)	167	5
上記 5 ホテル合計	売上高	(百万円)	1,888	-76

9 月度の実績に関するジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社（資産運用会社）からのコメント：

神戸メリケンパークオリエンタルホテルについて

宿泊部門では、個人向け商品が好調に推移したものの、前年開催された大型コンベンション大会がなかったため、稼働率、売上共に前年を下回りました。料飲部門では、婚礼宴会が前年後期に広告宣伝費を削減したため一時的に新規来館者数が減少し、対前年度比で受注件数が減少。料飲部門全体でも売上が前年を下回りました。その結果、ホテルの総売上は、前年同月を 65 百万円下回りました。なお、対前期同月増減の算出の基礎となる平成 19 年 9 月度の数値は、平成 20 年 9 月 22 日の「2008 年 8 月度の月次開示に関するお知らせ」に記載の宿泊売上の会計処理の変更後の数値です。

オリエンタルホテル 東京ベイ（旧：新浦安オリエンタルホテル）について

宿泊部門では TDR が 25 周年イベントにより順調に集客数を伸ばす中で、ADR は前年同月比で下がるも稼働率は上昇し、結果的に部門売上は前年を上回りました。レストラン部門においては、日並びにより週末の営業日数が対前年で少なかったことにより前年同月の売上を下回りました。宴会部門は一般宴会が底堅かったものの婚礼宴会が前年を下回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を 4 百万円下回りました。

なんばオリエンタルホテルについて

宿泊部門は、前年度にあった世界陸上による特殊要因が剥落し、ADR は前年度同月比を上回ったものの、稼働率が低下し、部門売上は前年を下回りました。結果的にホテル総売上は前年同月を 14 百万円下回りました。

ホテル日航アリビラについて

宿泊部門では、台風 13 号の影響でキャンセルが発生したものの、月を通しての入域者数は底堅く推移し、稼働率、ADR とも前年同月比を上回り、売上は前年を上回りました。料飲部門は、一般宴会を除き、対前年で下回ったため、部門売上は前年を下回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を 1 百万円上回りました。

オリエンタルホテル広島について

宿泊部門では、マーケット環境が堅調に推移する中、積極的なエージェントセールスが奏功し、稼働率、ADR とも前年同月比を上回ったため、売上は前年を上回りました。レストラン部門においては、前年を下回りましたが、宴会部門においては、9 月初旬に竣工した 3・4F 宴会場のリニューアル効果が高く、前年を上回りました。その結果、ホテルの総売上は前年同月を 5 百万円上回りました。

注 1) 上記のコメントは運用会社が賃借人から提供を受けた情報に基づいて作成しており、あくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。コメント中に記載された数値・情報については、監査等の手続を経ているものではなく、運用会社による独自の検証を行ないうる性質のものでもなく、個々の数字・内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご留意ください。

注 2) 各月の数字については監査等の手続を経ないため、各月を合計した金額は、後に提出する半期報告書、有価証券報告書に記載される6ヶ月間及び年間の売上合計と合わない場合があります。また、各月の売上についても、半期報告書、有価証券報告書に記載される各月の売上と相違する場合があります。

注 3) ADR：平均客室販売単価（Average Daily Rate）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計（サービス料を除きます。）を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。

注 4) RevPAR：販売可能客室数当たり宿泊部門売上（Revenue Per Available Room）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除したものをいい、ADRと客室稼働率の積にて計算される数値と同値となります。

注 5) 客室稼働率については小数点第2位を、ADR、RevPARについては小数点第1位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。

注 6) オリエンタルホテル広島については平成19年10月1日取得のため、対前期同月増減の算出基礎となる平成19年9月の数値は、未監査です。

注 7) 前期の同月との増減を記載しています。

以上

* 本投資法人のホームページアドレス：<http://www.jhrth.com/>